

# 神戸市感染症発生動向調査週報

平成30年4月17日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 47 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,  
設置定点数 48 ケ所 北7, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 15週

平成30年4月9日

～

平成30年4月15日

## インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	4		2	1	2	9	7	4	6	35			2	2		5	1	1	2	1	1	3		1	1	4	3	5	2	1

## 小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,  
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～						
RSウイルス感染症	3			1			1			5	2	1	2																	
咽頭結膜熱		1				1		1	1	4		1	1			1		1												
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	3	4	1	1		6	3	12	32			1	2	1	2	8	8	1	3	2	3							1	
感染性胃腸炎	9	5	4	6	19	12	18	32	18	123	2	7	17	18	9	12	13	7	6	5	4	6	3						14	
水痘	3				1				8	12				2	1	3	3		2		1									
手足口病							1	1		2		1	1																	
伝染性紅斑										0																				
突発性発疹	3				1				5	9		2	7																	
ヘルパンギーナ						1				1																			1	
流行性耳下腺炎	1				1				1	3				1			2													

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

## 眼科

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,  
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎									1	1																			1
流行性角結膜炎	2									2																1		1	

### 【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○アデノウイルス感染症1例:0歳11か月 女  
 ○ノロウイルス感染症2例:5歳 女  
 ○ロタウイルス感染症1例:1歳 女  
 ○ヒトメタニューモウイルス1例:0歳2か月 男  
 灘 区○溶連菌+アデノウイルス感染症(混合感染)1例:6歳 男  
 中央区○ヒトメタニューモウイルス1例:1歳 男  
 北 区○マイコプラズマ肺炎1例:3歳 女  
 ○ヒトメタニューモウイルス2例:0歳11か月 男、1歳 男  
 垂水区○ロタウイルス感染症1例:1歳 女  
 西 区○ロタウイルス感染症1例:14歳 女

【基幹定点(市内3ヶ所)からの報告】  
 ロタウイルス胃腸炎2例:3歳 男、5歳 女  
 マイコプラズマ肺炎1例:10歳 男

### 【市内の感染症の状況】

○インフルエンザ **非流行期(インフルエンザ定点医療機関あたりの患者数が1人未満)**  
 今週のインフルエンザ患者の報告は、定点あたり0.7人(先週1.1人)となりました。  
 今シーズンは、インフルエンザB型が例年より早い時期に流行したため、患者数の急激な増減が起こったと考えられます。ピーク時には、インフルエンザA型の流行と重なり、平成30年第5週にはインフルエンザ定点あたりの患者数が過去10年の最高値(50.4)に達しました。  
 また、神戸市の病原体検出状況は、B型(山形系統)、A型(H3亜型)、A型(H1pdm09亜型)の順に多く、国の報告している検出状況と同じ割合でした。

A型(H1pdm09亜型)	A型(H3亜型)	B型(山形系統)
44	64	85

春に増加する胃腸炎の原因は、ロタウイルスやアデノウイルスなど、ウイルスによるものが多いですが、気温が上昇すると、細菌による胃腸炎の患者が増加します。  
 原因菌となる腸管出血性大腸菌やカンピロバクター属菌は、食中毒の原因菌の一つです。腸管出血性大腸菌は、生や加熱不足の牛肉等が原因となることが多く、2～14日後に下痢・腹痛・血便を発生し、重症化してHUSを発生することがあります。カンピロバクターは、生や加熱不足の鶏肉が原因となることが多く、喫食から1～7日後に下痢、腹痛、発熱などの症状を発生し、まれにギランバレー症候群を発生することがあります。  
 未加熱又は加熱不十分な肉の喫食は避けましょう。また、焼肉やバーベキューの際は、生肉専用のトングやお箸を使用し、生肉を取り扱った後は手洗い、調理器具の消毒・殺菌をしましょう。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向【検索】](#)

[「I」情報センター」ホームページを開いています。詳細はこちらをクリック](#)

# 神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター

2018年4月17日作成

## 全数把握対象感染症発生状況 (二類感染症 結核)

結核届出患者数は21人(うち潜在性結核感染症10人)です。

## 全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	40代	-	2018年4月13日	2018年4月17日	O157(VT2)	便培養法	なし	不明	平成30年第14週報告患者の家族

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	50代	2018年4月7日	2018年4月8日	2018年4月9日	-	分離・同定による病原体の検出(血液)ラテックス法	発熱 全身倦怠感 肺炎・菌血症	不明	ワクチン接種なし
女	70代	2018年4月9日	2018年4月9日	2018年4月12日	-	分離・同定による病原体の検出(血液)	発熱 肺炎・菌血症	不明	ワクチン接種なし

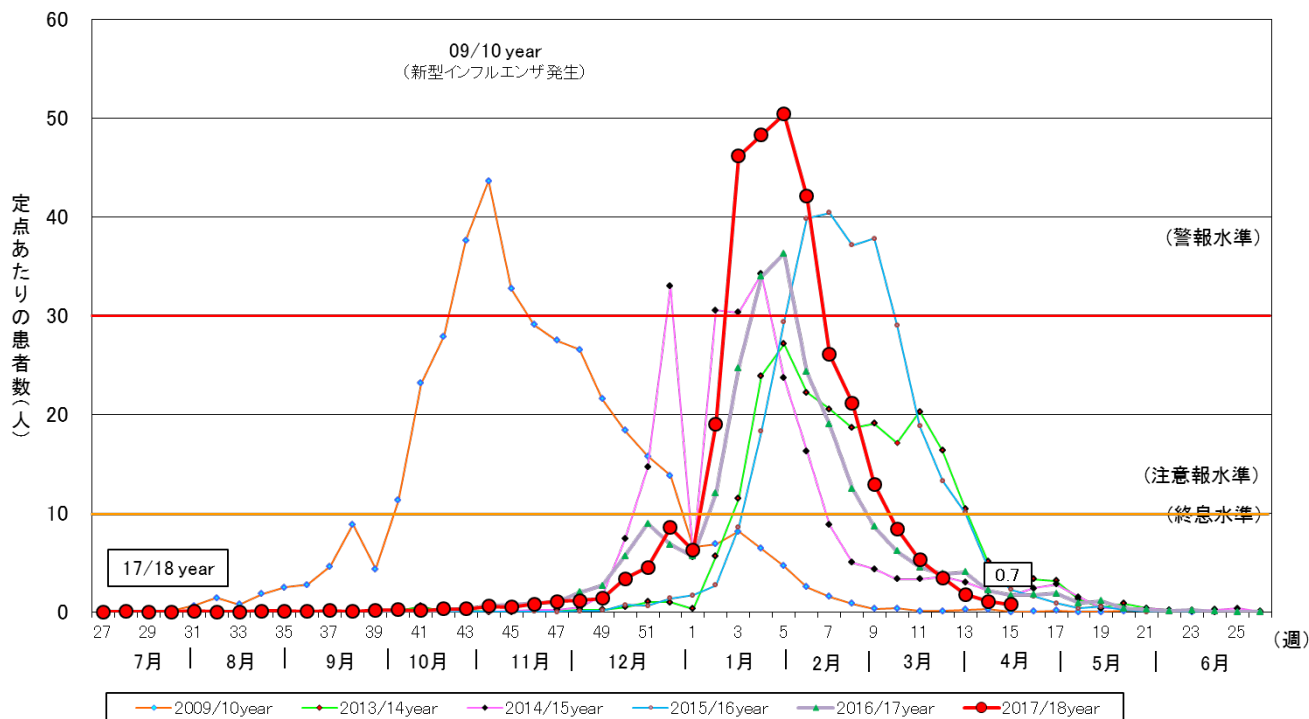
## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	50代	不明	2018年4月11日	2018年4月11日	無症状病原体保有者	RPRカードテスト TPHA法	なし	異性間性的接触	-
男	30代	2017年11月	2018年4月5日	2018年4月5日	早期顕症梅毒I期	RPRカードテスト TPHA法	初期硬結 鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)	異性間性的接触	-

## 神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
ヒトメタニューモウイルス	鼻腔ぬぐい液	須磨	3歳7ヶ月男(4/3採取、39℃、ヒトメタニューモウイルス感染症)
ノロウイルスGII	便	東灘	4歳6ヶ月女(4/12採取、発熱なし、感染性胃腸炎)
	便	東灘	4歳男(4/13採取、発熱なし、感染性胃腸炎)、通っている保育所で複数の患者発生
アデノウイルス5型	咽頭ぬぐい液	中央	2歳7ヶ月女(3/26採取、39℃、咽頭結膜熱)

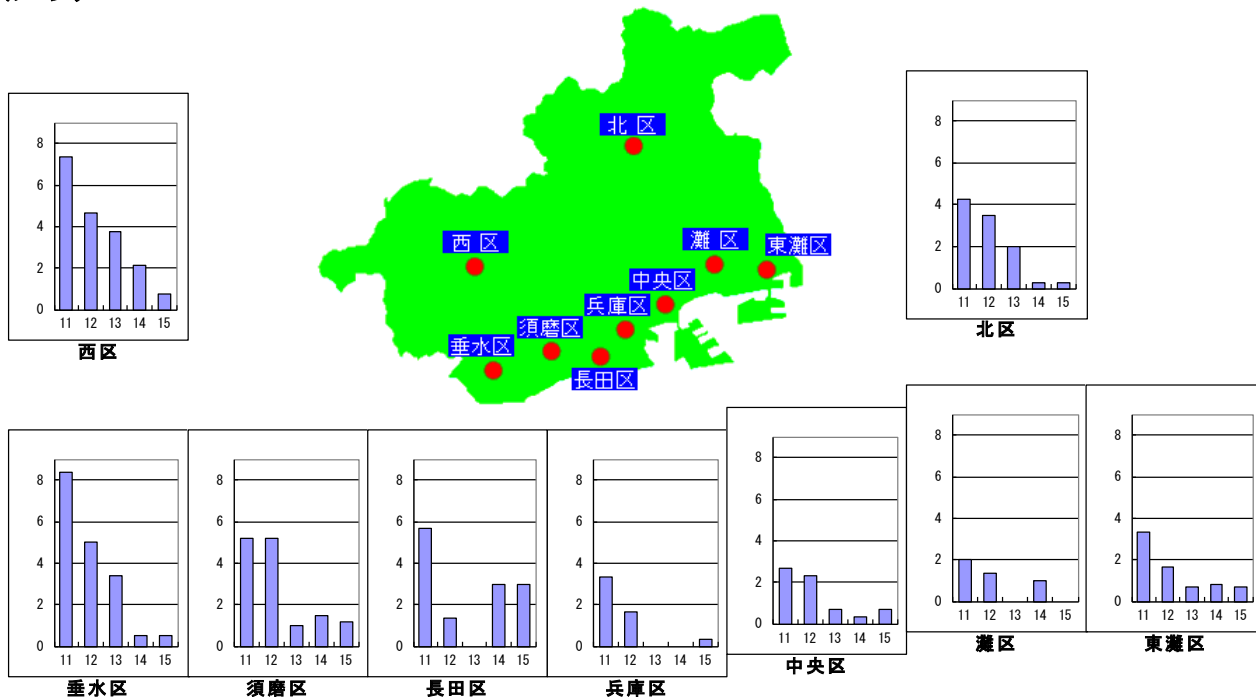
### 定点あたりのインフルエンザ患者報告数



### 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

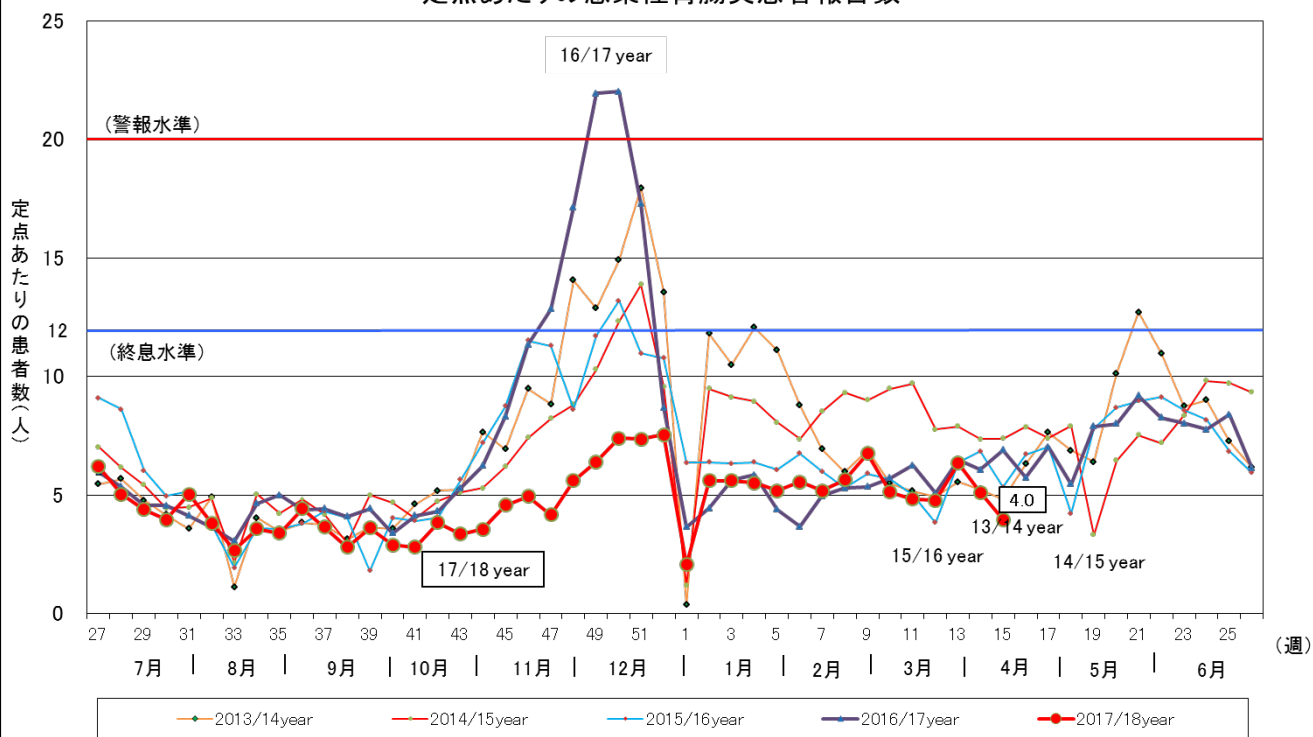
第 11 週 平成30年3月12日 ~ 第 15 週 平成30年4月15日

#### インフルエンザ



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

### 定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



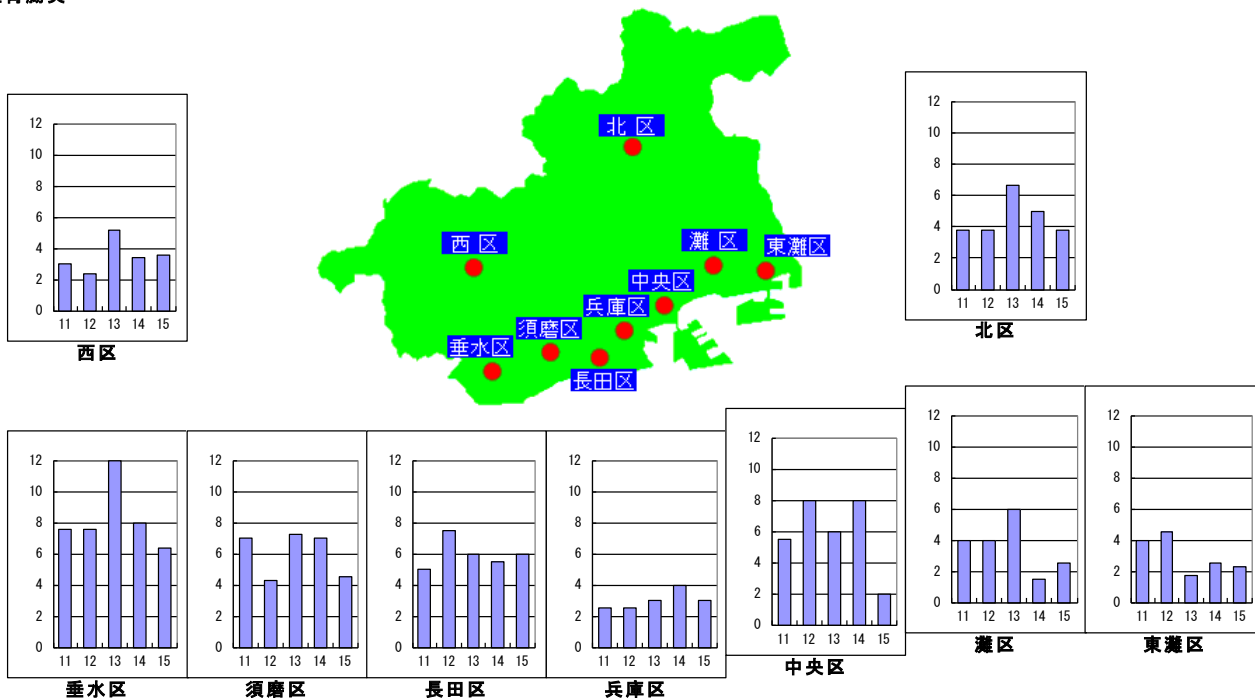
### 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 11 週 平成30年3月12日

~

第 15 週 平成30年4月15日

#### 感染性胃腸炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。